

エコアクション21



環境活動レポート

平成29年1月12日発行

対象期間：平成27年10月1日～平成28年9月30日

vol. 8



給水衛生設備・各種配管設計施工
宮城設備株式会社

目 次

	(頁)
目 次	1
組織の概要	2～3
環境方針	4
エコアクション 組織図及び実施体制	5
環境目標	6
環境活動計画	7
取組結果	8～11
環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	12
環境関連法規等の取りまとめ	13
緊急事態の想定結果及び対応策	14
代表者による全体評価・見直し記録表	15

組織の概要

名 称 ・ 代 表 者

宮城設備株式会社 代表取締役社長 宮城 勇

所 在 地
【 本 社 】

〒424-0008 静岡県静岡市清水区押切1644番地
TEL (054)346-1041 FAX (054)346-1058
E-mail : plumber.miyagi@ny.tokai.or.jp

【富士出張所】

〒417-0061 静岡県富士市伝法377-1番地
TEL (0545)51-6700 FAX (0545)51-6702
E-mail : fuji.miyagi.co@yr.tnc.ne.jp

環境管理の責任者及び担当者

【環境管理責任者】

常務取締役 高橋千年

【環境管理担当者】

EA21推進事務局 山崎嘉栄子

仕 事 内 容

【経営理念】

- ・仕事を通じて人の役に立ち喜ばれ働きがいのある会社作りを目指す。
- ・相互信頼、協調性、合理性のもと社員全員が一体となって目標を達成する会社作りを目指す。
- ・会社の価値を高め、お客様に愛される会社作りを目指す。



道路の水道本管工事



住宅の設備工事



重機工事



事業の内容

給水衛生設備・空調設備・その他各種配管設計施工

【設 立】 平成元年4月
 【資 本 金】 2千万円
 【従 業 員 数】 94人 (内パート従業員25人)
 【建設業登録】

〈管工事業〉 建設業許可番号 静岡県知事許可(特-26) 第20045号

〈水道施設工事業 消防施設工事業 土木工事業 とび・土木工事業 舗装工事業〉
 建設業許可番号 静岡県知事許可(般-26) 第20045号

〈浄化槽工事業〉 浄化槽許可版防 静岡県知事許可(届-12) 第05-157号

【指定上下水道工事店】 静岡県内はじめ18市町村指定水道工事店

【車 両 台 数】 80台

【業 務 資 格】

車両系建設機械運転技能(整地・運搬)	32名	液化石油ガス設備士	2名
給水装置工事主任技術者	28名	ローラーの運転の業務	2名
下水道排水設備工事責任技術者	28名	消防設備士(甲種第1類)	2名
職長教育	27名	消防設備士(乙種第4類 乙種第6類)	1名
自由研削といし	23名	消防設備士(甲種第1類 甲種第2類 甲種)	1名
高所作業車運転技能	20名	衛生管理者	1名
丸のこ等取扱い作業	18名	第2種電気工事士	1名
二級配管技能士	16名	貯水槽清掃作業監督者	1名
第2種酸素欠乏危険作業	15名	測量士補	1名
小型車両系建設機械(整地・運搬・積込)	13名	一般毒物劇物取扱者	1名
車両系建設機械運転技能(技能講習)	12名	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	1名
二級管工事施工管理技士	10名	移動式クレーン運転士	1名
玉掛技能	8名	防火管理	1名
小型移動式クレーン運転技能士	7名	動力により駆動される巻上げ機の運転	1名
一級管工事施工管理技士	6名	吊揚搬入作業指揮者	1名
ガス溶接技能	6名	型わく支保工の組立	1名
小口径NS継手	6名	配管用フレキ管講習	1名
有機溶剤取扱業務	6名	第1種酸素欠乏危険作業	1名
監理技術者(管)	6名	建設業経理事務士3級	1名
配水管工技能	4名	2級表計算技士	1名
一級土木施工管理技士	4名	安全運転管理者	1名
地山・作業主任者	4名	装置工事士(都市ガス)	1名
土止・作業主任者	4名	装置管理士(都市ガス)	1名
水道配水用ポリエチレン管	4名	医療機器の販売及び賃貸管理者	1名
フォークリフト運転技能	4名	危険予知訓練研修	1名
二級土木施工管理技士	4名	危険物取扱	1名
監理技術者(土木)	4名	第一種圧力容器取扱	1名
浄化槽整備士	3名	第3種内管工事士・ねじ工事 ガス協会内管	1名
あと施工アンカー技術講習	3名	石油機器技術管理士	1名
低圧電気取扱業務	3名	クレーン運転特別教育	1名
車両系建設機械運転技能(解体用)	2名	統括監理者	1名
アーク溶接	2名	足場の組立	1名
福祉住環境コーディネーター	2名	2級造園施工管理技士	1名
副安全運転管理者	2名	一級配管技能士	1名
安全管理者	2名	第一種衛生管理者	1名
二級建築士	2名		

宮城設備株式会社

環境方針

【環境理念】

宮城設備株式会社は、素早い対応を経営理念に掲げており、環境においても今できることを積極的に実行いたします。

すべての事業内容が環境への負荷を与えていることを認識し、大幅に減少しているので効果は出ていると評価出来る。

【基本方針】

- 1, 環境保全への取り組みとして、以下について実施計画を立て環境負荷を低減し、継続的改善に努めます。
 - ① 電気・燃料・水の使用量を削減し、二酸化炭素排出量を削減
 - ② 産業廃棄物の分別及びリサイクルに努め、資源として再利用し廃棄物を削減
 - ③ グリーン購入の推進 及びにエコ商品の販売促進
- 2, 環境関連法規制等を遵守します。
- 3, 事業所の環境保全活動を推進するとともに、地域の環境保全活動に積極的に協力します。

この環境方針は全社員に周知・徹底し、一般にも公表します。

制定日 平成 21 年 7 月 1 日

改定日 平成 22 年 10 月 1 日

宮城設備株式会社

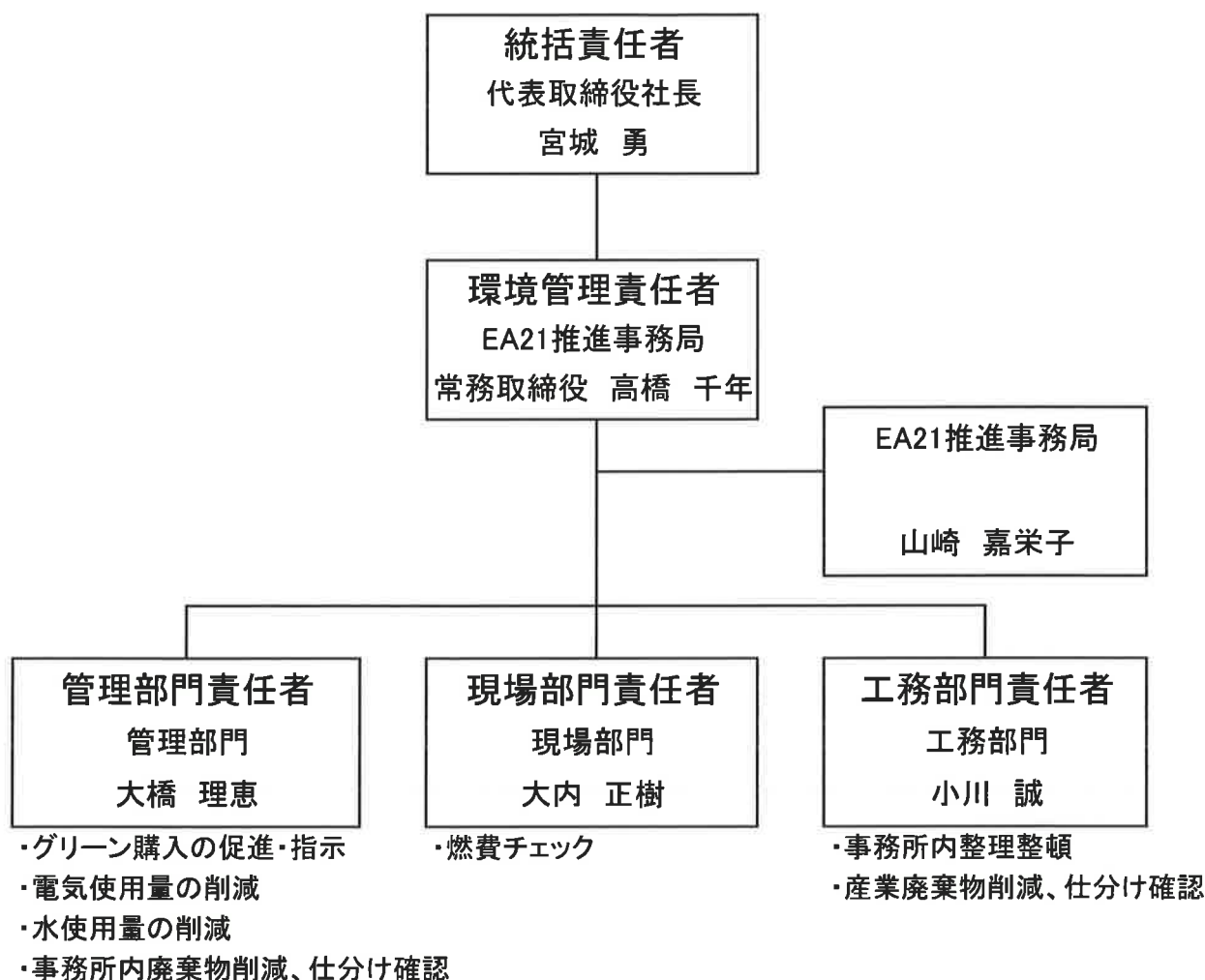
代表取締役社長

宮城 勇



宮城設備(株) エコアクション 組織図及び実施体制

認証範囲: 全組織・全活動



統括責任者	① 環境方針の決定 ② 環境管理責任者の任命 ③ 環境経営に関する統括責任者 ④ システムの実施に必要な人材・費用・時間の用意 ⑤ 環境方針の策定・評価・見直し 及び全社員へ周知・訓練の実施
環境管理責任者	① システムの責任者としての権限を、他の責任に関わらず持つ ② システムの構築・実施・管理 ③ 環境目標・活動計画を確認 ④ 環境活動の取り組み結果を統括責任者へ報告
環境事務局	① 環境管理責任者の補佐 ② 環境への負荷の自己チェック・環境への取組の自己チェック実施 ③ 環境関連法規の取りまとめ表作成・管理 ④ 環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況集計 ⑤ 外部からの環境に関する苦情や要望の受付・対応窓口 ⑥ 環境活動レポート作成・公開

環境目標

■ 二酸化炭素・化石燃料

中部電力実排出係数:0.497kg/Co2 使用

			基準値	中期目標				
			H26.10～H27.9	H27.10～H28.9	H28.10～H29.9	H29.10～H30.9	H30.10～H31.9	H31.10～H32.10
目標削減率			100%	99%	98%	97%	96%	95%
二酸化炭素	排出量	kg-Co2	295,349	292,396	289,442	286,489	283,535	280,582
	原単位	kg-Co2/百万円	252.6	250.1	247.5	245.0	242.5	240.0
電気	使用量	kWh	28,324	28,041	27,758	27,474	27,191	26,908
	原単位	kWh/百万円	24.2	24.0	23.7	23.5	23.2	23.0
ガソリン	使用量	ℓ	51,912	51,393	50,874	50,355	49,836	49,316
	原単位	ℓ/百万円	44.4	44.0	43.5	43.1	42.6	42.2
軽油	使用量	ℓ	59,396	58,802	58,208	57,614	57,020	56,426
	原単位	ℓ/百万円	50.8	50.3	49.8	49.3	48.8	48.3
灯油	使用量	ℓ	1,850	1,832	1,813	1,795	1,776	1,758
	原単位	ℓ/百万円	1.50	1.49	1.47	1.46	1.44	1.43

■ 廃棄物排出量

			基準値	目 標				
			H26.10～H27.9	H27.10～H28.9	H28.10～H29.9	H29.10～H30.9	H30.10～H31.9	H31.10～H32.10
目標削減率			100%	99%	98%	97%	96%	95%
産業廃棄物	排出量	kg	544,100	538,659	533,218	527,777	522,336	516,895
	原単位	kg/百万円	465.4	460.7	456.1	451.4	446.8	442.1
一般廃棄物	排出量	kg	27,000	26,730	26,460	26,190	25,920	25,650
	原単位	kg/百万円	23.0	22.8	22.5	22.3	22.1	21.9

■ 水・LPG使用量

			基準値	目 標				
			H26.10～H27.9	H27.10～H28.9	H28.10～H29.9	H29.10～H30.9	H30.10～H31.9	H31.10～H32.10
目標削減率			100%	99%	98%	97%	96%	95%
水	使用量	m ³	386	382.1	378.3	374.4	370.6	366.7
	原単位	m ³ /百万円	0.33	0.33	0.32	0.32	0.32	0.31
LPG	使用量	m ³	88	87.12	85.38	82.82	79.50	75.53
	原単位	m ³ /百万円	0.075	0.074	0.074	0.073	0.072	0.071

■ グリーン購入目標

		目 標				
		H27.10～H28.9	H28.10～H29.9	H29.10～H30.9	H30.10～H31.9	H31.10～H32.9
バックホウ	台	2	2	2	2	2
工具	台	4	4	4	4	4

環境に配慮した事務用品等を使用する

■ 自らが提供するサービスに関する目標

- ・使用する材料や新製品に関する講習会の実施(月1全体会議にて)
- ・環境に配慮した工法・材料の見直し・情報収集等(月1監督会議にて)

■ 化学物質使用量削減目標

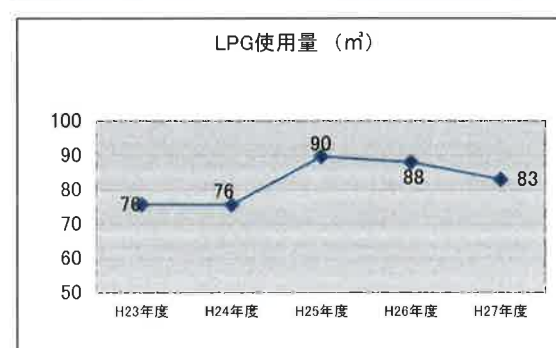
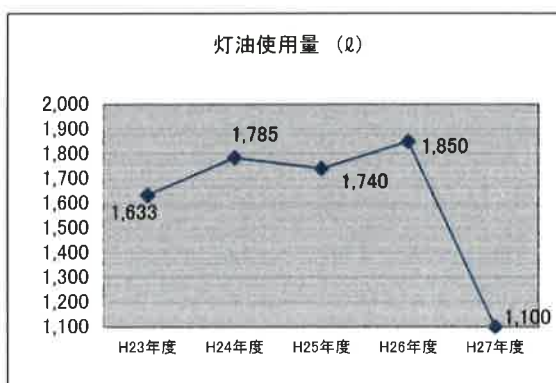
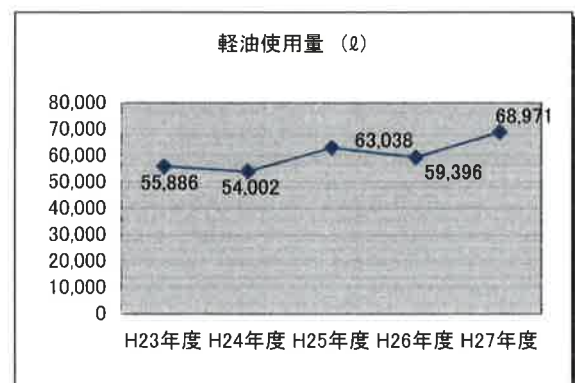
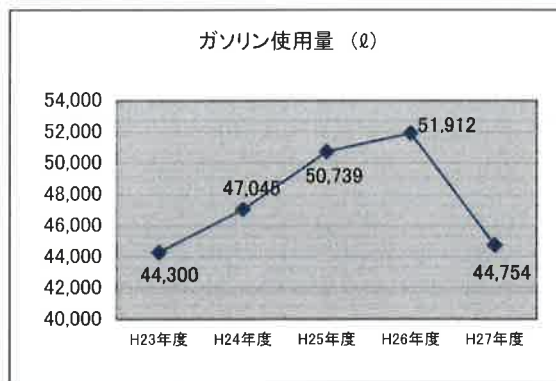
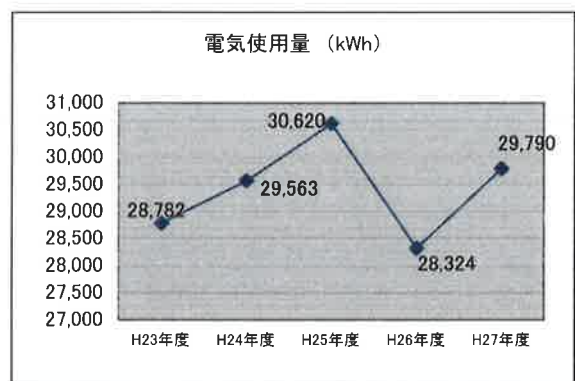
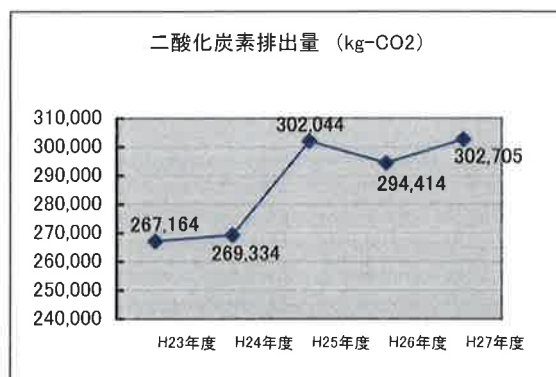
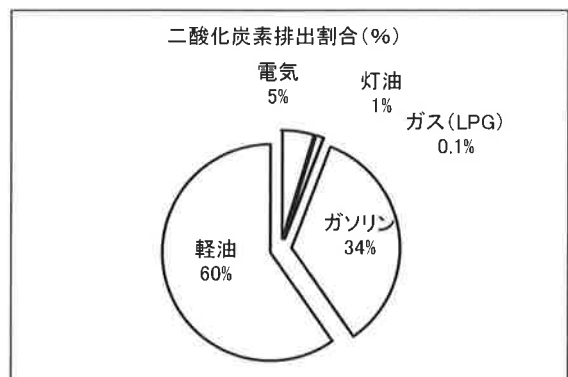
接着剤にて化学物質を使用しますが数値にて削減目標を設定できない為
適正な管理・使用を目標とする

実施項目	参加者	年間スケジュール											
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
■CO2排出量削減													
急発進、急ブレーキの禁止	全員	実施											→
アイドリングストップ	全員	実施											→
エンジンブレーキの使用推進	全員	実施											→
タイヤの空気圧チェック	全員	実施											→
不要な荷物を積まない	工事課	実施											→
現場経路確認	工務・工事課	実施											→
タイヤへ窒素充填	EA21担当	実施											→
エコ整備	全員	実施											→
車輛燃費チェック	EA21担当	実施											→
昼休み消灯等、節電の徹底	全員	実施											→
高効率給湯器の普及推進	全員	実施											→
重機運転時のアイドリング等配慮	現場	実施											→
手直し工事の削減	工務・工事課	実施											→
■産業廃棄物削減													
古紙分別を徹底再資源化	事務所	実施											→
材料分別の徹底・再資源化率の向上	工務・工事課	実施											→
■水使用量削減													
出しっぱなし注意	全員	実施											→
漏水の点検	全員	実施											→
事務所内の洗い物はまとめ洗い	事務所	実施											→
■グリーン購入													
事務用品は100%グリーン商品を購入	事務所	実施											→
工具・建設機械のグリーン商品購入	工務	実施											→
■推進活動													
目で見える管理の充実	全員	検討・実施											→
整理整頓(事務所内・倉庫)	事務所	実施											→
法令遵守確認	事務所	実施											→
PC掲示板の活用	事務所	実施											→
安全パトロールの実施	工務	実施											→
現場使用工具等定期点検実施	事務所・工事課	検討・実施											→
紙manifest廃止	事務所・工事課	検討・実施											→
携帯一斉メール	事務所	実施											→
工事施工指導	工務・工事課	実施											→
運行メモ・燃費チェック	工務・工事課	検討・実施											→
材料・新製品に関する講習会の実施	全員	実施											→
環境に配慮した工法・材料の見直し	工務・工事課	実施											→
製品サービス充実	全員	検討・実施											→
月1会議にて状況報告・指導	EA21担当	実施											→

H27年度(H27.10からH28.9)の実績

【 総 量 】

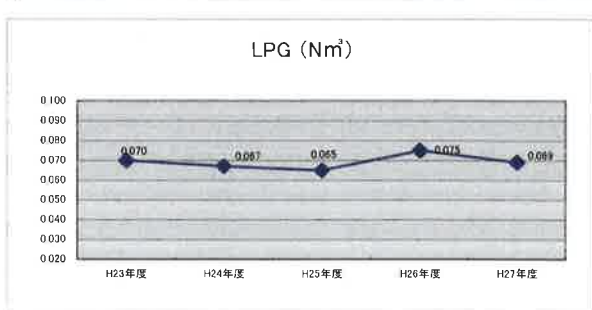
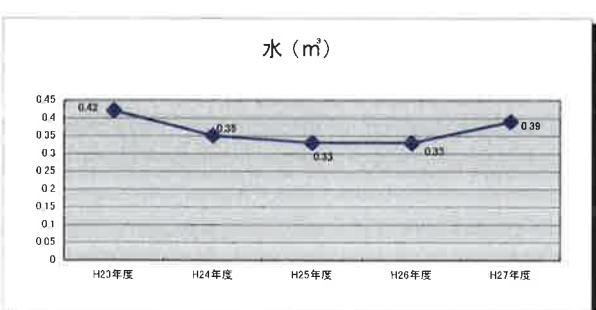
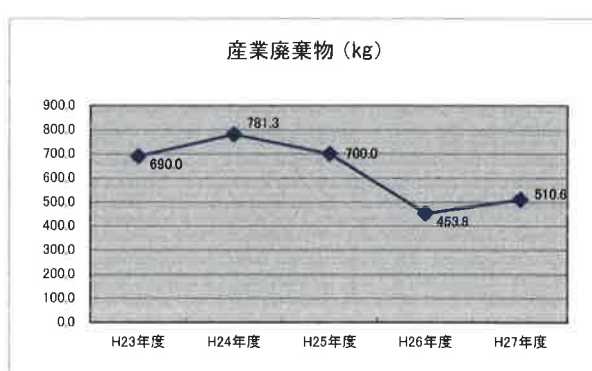
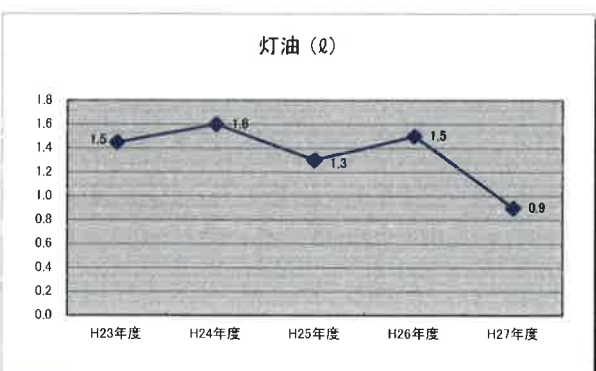
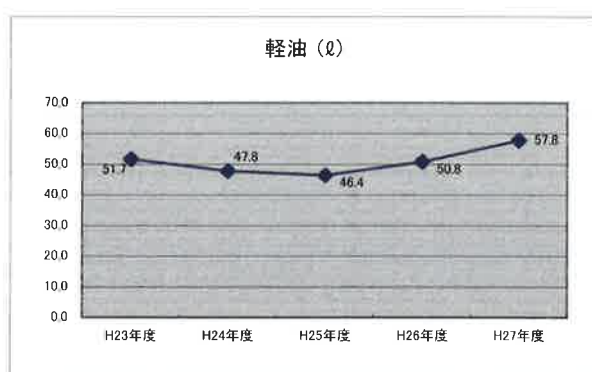
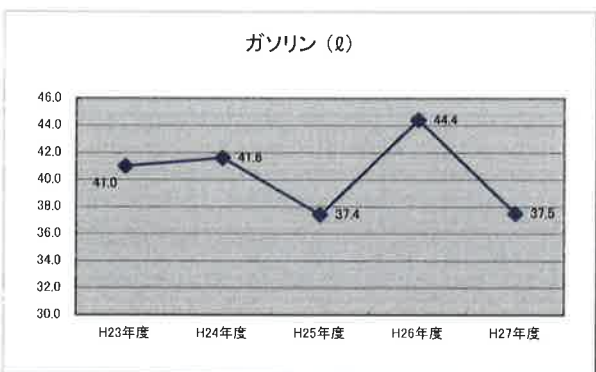
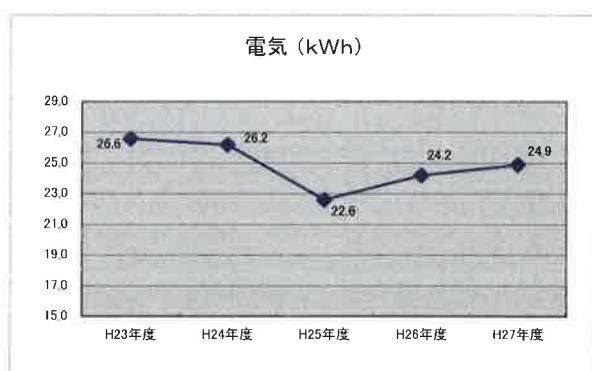
		基準値 (H26.10～H27.9)	目標値	実績	増 減
二酸化炭素	(kg-CO ₂)	295,349	292,396	302,705	+10309
電気	(kWh)	28,324	28,041	29,790	+1749
ガソリン	(ℓ)	51,912	51,393	44,754	-6639
軽油	(ℓ)	59,396	58,802	68,971	+10169
灯油	(ℓ)	1,850	1,832	1,100	-732
産業廃棄物	(kg)	544,100	538,659	609,200	+69541
一般廃棄物	(kg)	27,000	26,730	17,200	-9530
水	(m ³)	386.0	382.1	470.0	+87.9
LPG	(Nm ³)	88.0	87.1	83.0	-4.1



【 原単位 】

		基準値	目標値	実績	達成判定
		(H26.10～H27.9)	(H27.10～H28.9)		
二酸化炭素	kg-CO2/百万円	252.6	250.1	253.7	×
電気	kWh/百万円	24.2	24.0	24.9	×
ガソリン	ℓ/百万円	44.4	44.0	37.5	○
軽油	ℓ/百万円	50.8	50.3	57.8	×
灯油	ℓ/百万円	1.50	1.5	0.9	○
産業廃棄物	kg/百万円	465.4	460.7	510.6	×
一般廃棄物	kg/百万円	23.0	22.8	14.4	○
水	m ³ /百万円	0.33	0.33	0.39	×
LPG	Nm ³ /百万円	0.075	0.07	0.069	○

今年度は新たにH26年度を基準値とし、年1%削減で3年間で3%削減を目標としました。
急激に増加してるものはないが、さらに意識を高めて削減に取り組んでいきたいと思ひます。



【 グリーン購入目標 】

グリーン購入	目標値	H27年度 (H26.10～H27.9)		達成判定
バックホウ	2台	0台		×
工具	4台	5台	LED投光器等	○

今年度は夜間工事用にLED投光器を購入しました。

【 自らが提供するサービスに関する目標 】

- ・環境に配慮した工法・材料の見直し・情報収集等を監督会議にて実施
- ・新しい材料をメーカーに提案
2種類のものを一体化させて、コンパクトにしたい。
材料を減らし、施工時間の短縮も期待できる。
- ・全車にとりつけてあるドライブレコーダーの映像を事故にあたり、目撃したりした時は
向上委員会にて写し、原因や注意する点を確認



【 社内設備等 】



エアコンの温度設定を保っています。

【 リサイクル 】



社内にプリンターのインクカートリッジ回収箱を置き集め
本社近くの小学校に提供

【 社会奉仕作業(ボランティア活動) 】

・静岡県設備協会による清掃奉仕活動への参加

2/5 9/27



・静岡市との道路サポーター協定による道路清掃活動

毎週月曜日



【 災害協定活動 】

・静岡市の管路復旧訓練に参加(9/9)



・平成28年4月の熊本地震の応急復旧活動に参加



【 太陽光発電設備 】

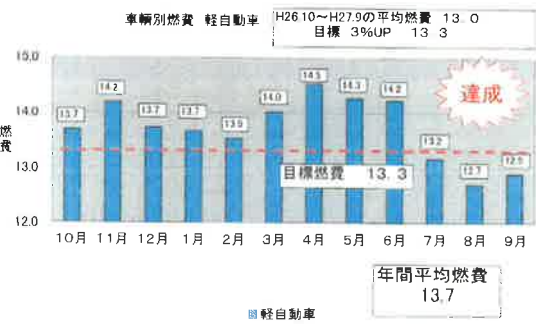


年間発電量(売電) 23,992kwh

	H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3	
発電量	1,839	2,090	1,120	1,500	1,491	2,073	
	H28.4	H28.5	H28.6	H28.7	H28.8	H28.9	合計
発電量	1,961	2,677	2,324	2,134	2,143	2,640	23,992

【 燃費状況報告 】

・車両種類別の平均燃費状況を食堂に展示、年度末には達成状況を報告



	H26	H27 目標	H27 結果	H28 目標
軽自動車 (事務所・監督) 14台	13.0	13.3	13.7 ◎	14.1
普通車 (監督・IBOX) 2台	11.9	12.2	11.8 ↓	12.2
普通車 (監督) 4台	6.1	6.3	5.9 ↓	6.3
軽トラック (軽トラック・軽ワゴン) 18台	12.0	12.3	12.3 ◎	12.6
ダンプ (2t・3t・4t) 20台	5.5	5.6	5.5 →	5.6
トラック (1tから1.6t) 18台	8.2	8.4	8.2 →	8.4

環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容

実施項目	参加者	評価	次年度の取組
■CO2排出量削減			
急発進、急ブレーキの禁止	全員	△	声掛け実施 今後も継続
アイドリングストップ	全員	○	声掛け実施 今後も継続
エンジンブレーキの使用推進	全員	○	声掛け実施 今後も継続
タイヤの空気圧チェック	全員	○	定期チェックを実施
不要な荷物を積まない	工事課	△	声掛け実施 今後も継続
現場経路確認	工務・工事課	○	声掛け実施 今後も継続
タイヤへ窒素充填	EA21担当	○	順次実施中
エコ整備	全員	△	管理表作成 担当業者と相談中
車輻燃費チェック	EA21担当	○	実施 推移を確認し、状況を会議にて報告
昼休み消灯等、節電の徹底	全員	○	実施 今後も継続
高効率給湯器の普及推進	全員	△	実施するも、数値化は難しい為活動のみ実施
重機運転時のアイドリング等配慮	現場	○	現場パトロールにて指導 アイドリング運転が見られた為再指導
手直し工事の削減	工務・工事課	△	会議・講習会を実施 今後も継続
■産業廃棄物削減			
古紙分別を徹底再資源化	事務所	○	実施 今後も継続
材料分別を徹底し再資源化率の向上	工務・工事課	○	新入社員に分別がわかりづらかった為、誰が見ても分かる表示の徹底
■水使用量削減			
出しっぱなし注意	全員	○	実施 今後も継続
漏水の点検	全員	○	実施 今後も継続
事務所内の洗い物はまとめ洗い	事務所	○	実施 今後も継続
■グリーン購入			
事務用品は100%グリーン商品を購入	事務所	○	実施 今後も継続
工具・建設機械のグリーン商品購入	工務	○	実施 今後も継続
■推進活動			
目で見える管理の充実	全員	○	表示の徹底等実施 今後も継続
整理整頓(事務所内・倉庫)	事務所	△	声掛け・表示等実施
法令遵守確認	事務所	○	実施 今後も継続
PC掲示板の活用	事務所	○	実施 今後も継続
安全パトロールの実施	工務	○	実施 今後も継続
現場使用工具等定期点検実施	事務所・工事課	○	実施 今後も継続
紙マニフェスト廃止	事務所・工事課	△	全て廃止にするのは難しい
携帯一斉メール	事務所	○	実施 今後も継続
工事施工指導	工務・工事課	○	会議・講習会を実施
運行メモ・燃費チェック	工務・工事課	○	実施 今後も継続
製品サービス充実	全員	○	高効率給湯器等の案内については、問い合わせ時のみ実施 リール情報等は随時連絡
月1会議にて状況報告・指導	EA21担当	△	数値化は難しい為、活動のみ実施 実施 今後も継続

○:できた △:まずまず ×:できなかった

■ 環境関連法規等の取りまとめ

作成日	作成者
H28.12.1	山崎

① 当社に該当する遵守しなければならない主な環境関連法規

評価日 平成27年 10月 1日

法律名	規制詳細・実施義務		遵法評価
水道法(給水装置)	工事基準	基準の遵守(施工計画書に反映)	遵守
下水道法(排水設備)	指定工事店	許認可と有効期限の確認	遵守
浄化槽法	有資格者	資格者登録	遵守
建設業法	指定工事店	許認可と有効期限の確認	遵守
	有資格者	施工計画書の提出	遵守
リサイクル法	廃棄物抑制のための原材料使用の合理化、再生資源・部品の利用促進	建設リサイクル法(分別解体等及び再資源化)	遵守
		家電リサイクル法(指定家電の収集)	遵守
		自動車リサイクル法(再資源化等預託金支払い)	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物の保管	保揭示板設置(60×60cm以上)	遵守
		構造耐力上安全な囲い	遵守
		飛散、流出、地下浸透、悪臭発散の防止	遵守
	産業廃棄物の運搬・処分の委託	処理業者の間で適正な委託契約を結ぶ	遵守
		契約書の保管	遵守
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)	廃棄物引渡し時にマニフェスト交付	遵守
		処理終了の確認	遵守
		マニフェスト年間集計及び報告(6月30日までに地区保健所へ行う)	遵守
静岡市条例	廃棄物の処理・減量	廃棄物の排出抑制・分別の推進、減量	遵守
		土地・建物周辺地域の生活環境保全	遵守
	廃棄物処理委託先実地確認	処理が実際に行われる処理施設の確認 実地確認の結果を記録・5年間保存	遵守
富士市条例	事業系一般廃棄物の適正処理	廃棄物抑制・再利用し、減量を図る	遵守
		自らの責任において適正に処理	遵守
騒音規制法	工事機械等の騒音	静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づき 特定建設作業の実施の届出	遵守
		住居集合地域、病院・学校の周辺等において 時間帯ごとの基準を遵守	遵守
振動規制法	工事機械等の振動	静岡県生活環境の保全等に関する条例に基づき 特定建設作業の実施の届出	遵守
		住居集合地域、病院・学校の周辺等において 時間帯ごとの基準を遵守	遵守
省エネ法	建築物、機械器具についてのエネルギーの使用の合理化を総合的に進めるための必要な措置を講ずる		遵守
環境基本法	環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築		遵守
循環型社会形成推進基本法	循環資源の再使用やリサイクル推進 発生抑制→再使用(リユース)→再生利用(リサイクル)→熱回収→適正処分		遵守
グリーン購入法	環境負荷がなるべく少ないものの購入		遵守

② 違反、訴訟の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟・苦情はありませんでした。

■ 代表者による全体評価・見直し記録表

代表者
社長 宮城 勇
28年 12月 22日

代表者による全体評価・見直し指示	全体評価・コメント		今年度は、市外の現場が増えて軽油の使用量の増加が大きかったようである。 また、電気と水の使用量が前々年度の数量に戻ってしまい 目標に達成出来ず厳しい結果となった。 節電・節水の意識が薄れてしまったようで残念である。 しかし、ガソリンの使用量は減っているので、 エコドライブの意識は高まっていると実感でき、定着させたい。 材料・事務用品・燃料の無駄をなくし、社員一人一人の意識を高めて、 エコ活動へつなげたい。	
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	無	従来通り推進
	2	環境目標	有	全体目標が未達成の為要再検討
	3	環境活動計画・取組項目	有	燃費チェックの発表等燃費削減啓発・掲示を増やすこと
	4	環境に関する組織	無	従来通り推進
	5	その他のシステム要素	無	従来通り推進
	6	その他(外部への対応等)	無	従来通り推進